

思い出の学舎をあとに

小中学校で卒業式

3月13日、横芝町中学校で平成9年度卒業証書授与式が行われ、211名の卒業生が大木校長先生から一人ひとり卒業証書を受け取りました。

この日の卒業式では、3年生が「仰げば尊し」などの卒業の歌を素晴らしいハーモニーで披露し、出席者のみなさんを感激させました。

近年、全国的に中学生による様々な事件が世間を騒がしていますが、このコラスを聴いて、横芝中学校はそのような事件とは無縁のものと父兄のみなさんも確信したようでした。今後の進路は違つても、横芝中出身を誇りこし、頑張ってください。

また、18日には大総、横芝、上堺の各小学校でそれぞれ卒業式が行われ、185名の卒業生が思いでの学舎を卒立つていきました。

4月からは中学生ですね。新たな友達をたくさん見つけ、勉強にスポーツに励んでください。

卒業証書授与式



一人ひとりの手に卒業証書が（横芝中学校）



上堀小学校の卒業式



卒業式・入学式に 春の花パンジーを

三月七日（土）、青少年相談員連絡協議会（西崎正道会長）のみなさんが、卒業式、卒園式に彩りを添えようと、春の花パンジーを町内の各小中学校、保育所に植栽してくれました。この花は、入学、入園式頃まできれいに咲いているそうで、新入生もきっと心をなごますことでしょう。

ありがとうございました。

“今！家庭のあり方を考える”

第3回家庭教育学級

3月7日（土）、町文化会館を会場に家庭教育学級の一環としての講演会が開催され、山武郡教育研究所で不登校児などの生活指導を行っている「篠崎健一リングを通して」と題し、家庭の役割・親の役割についての講演を行いました。昔はお父さんが「こうしなさい」と言えば子どもはそれに従つたが、今の親は「叱ることをほとんどしない」と無関心さを指摘。そして「この無関心さが不登校児を増やす原因の一つなのは」と子どもと真剣に対話することを勧めました。家庭は、子どもたちに基本的な生活習慣や価値観など人格の基本となるものを身につけさせるための重要な場です。家庭での会話を大切にしましょう。



熱心に耳を傾けるお母さんたち